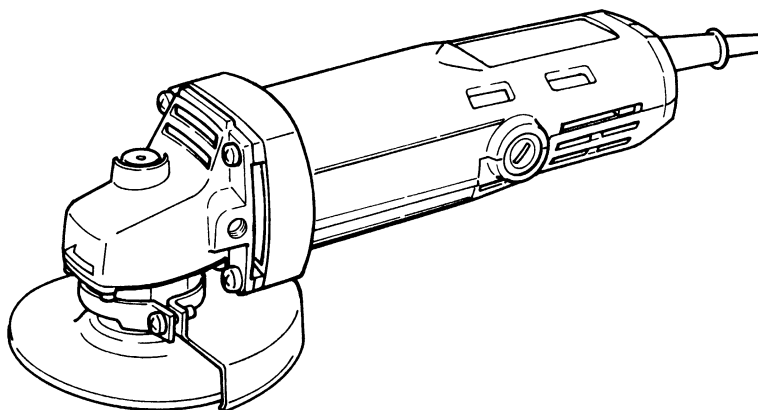
Hitachi Koki

日立電気ディスクグラインダ

100㎜　**G 10SB1**

100㎜　**G 10SB1(E)**　〔G 10SB1の3Pポッキン（可倒式さし込み）プラグ付〕

取扱説明書

このたびは日立電気ディスクグラインダをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

HITACHI

目　次

ページ

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠警告 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注 ： **製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では,耳栓,イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。
- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

電気ディスクグラインダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，電気ディスクグラインダとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

② **必ずアース（接地）してください。**
故障や漏電などのとき，感電の恐れがあります。
（詳細は，12ページの「1．アース（接地），漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。）

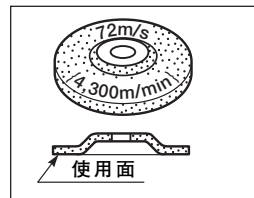
③ **ホイルガードは，必ず取り付けて使用してください。**
トイシやダイヤモンドホイールが破壊したとき，けがの原因になります。

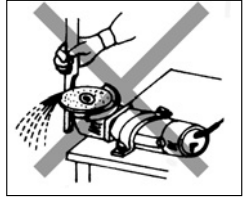
④ **使用するトイシ（レジノイドトイシ）は，最高使用周速度72m／s｛4,300m／min｝以上の正規のトイシを取り付け，正しい使用面で研削してください。**
側面や上面では研削しないでください。
正規以外のトイシを使用したり，また側面や上面で研削すると，トイシが破壊し，けがの原因になります。
（トイシ寸法は９ページの仕様欄をご参照ください）

④

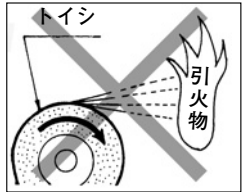
⑤ **トイシにヒビ，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**
異常があると，トイシが破壊し，けがの原因になります。

⑥ **使用中は，振り回されないよう本体を確実に保持してください。とくに始動時は気をつけてください。**
確実に保持していないと，けがの原因になります。

⑦ **水，研削液などは使用しないでください。**
乾式用のため，トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。

⚠ 警　告

⑧ **本体を万力などで保持した使い方はしないでください。**
トイシやダイヤモンドホイールが破壊したとき，けがの原因になります。

⑨ **使用中は，回転部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⑩ **研削粉は火花となって飛散するので，引火しやすいもの，傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また，研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。**
火災ややけどの原因になります。

⑪ **トイシを用いて切断作業をする場合は，切断トイシを使用してください。**
切断トイシ以外のトイシは，けがの原因になります。

⑫ **切断トイシを使用する場合は，切断トイシ専用のホイルガード（切断用），ホイルナット（切断用）を取り付けてください。**
切断トイシが破壊したとき，けがの原因になります。

⑬ **回転させたまま，台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

⑭ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑧ ⑪

⑨

⑩

⑬

⑮ **誤って落としたり，ぶつけたときは，トイシや機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⑯ **継ぎ（延長）コードを使用するときは，アース線を備えた３心キャブタイヤケーブルを使用してください。**
アース線のない２心コードですと，感電の原因になります。

⚠　警　告

⑰〔事業者の方へ〕トイシの取り替え・試運転は，法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法令　労 働 安 全 衛 生 規 則　第36条
労働安全特別教育規程　第１条，第２条

⚠　注　意

①　工具類（トイシなど）や付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

②　新しいトイシを取り付け，はじめてスイッチを入れるときは，トイシの露出部から一時身体を避けてください。

トイシが破壊したとき，けがの原因になります。

③　試運転を励行してください。
試運転時間は，14ページの「7．試運転を行なう」の項をご参照ください。

試運転せずに作業開始すると，思わぬけがの原因になります。

④　高所作業のときは，下に人がいないことをよく確かめてください。
また，コードを引っかけたりしないでください。

材料や機体などを落としたときなど，事故の原因になります。

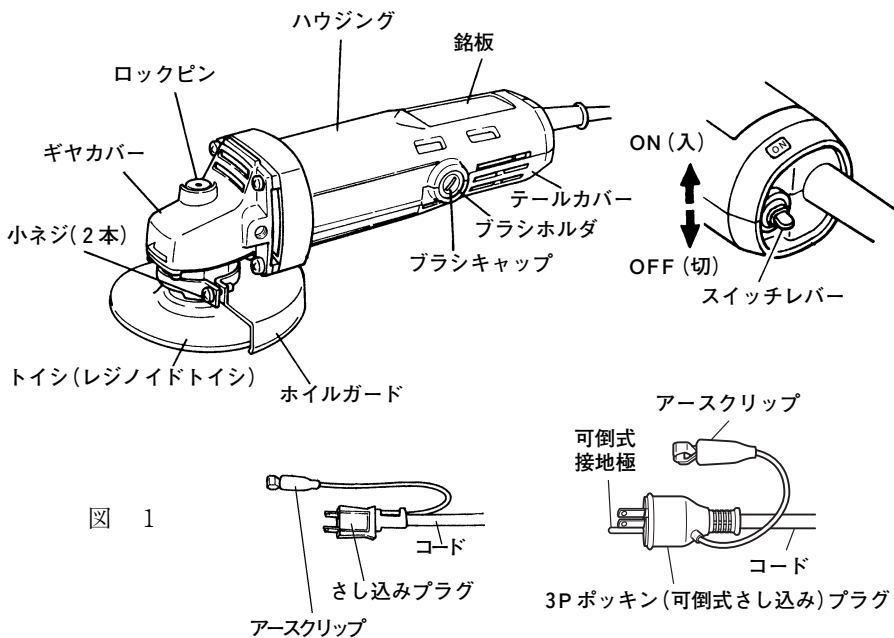
⑤　指定以外の刃物（丸のこ刃，チップソーなど）での切断作業はしないでください。

丸のことしての保護装置がなく，けがの原因になります。

各部の名称

ハウジング
銘板
ロックピン
ギヤカバー
小ネジ(2本)
テールカバー
ブラシホルダ
ブラシキャップ
トイシ(レジノイドトイシ)
ホイルガード
ON(入)
OFF(切)
スイッチレバー
アースクリップ
可倒式
接地極
コード
さし込みプラグ
アースクリップ
コード
3Pポッキン(可倒式さし込み)プラグ
G10SB1
G10SB1(E)

図 1

仕　　様

項目	仕様
使用電源	単相交流 50／60 Hz 共用 電圧 100 V
モーター	単相直巻整流子モーター
全負荷電流	5.5 A
消費電力	530 W
無負荷回転数	12000 min^{-1} ｛12000 回／分｝
トイシ寸法	外径 100 ㎜ × 厚さ 4 ㎜（または 6 ㎜）× 穴径 15 ㎜
質量	1.8 kg（コードを除く）
コード	アースクリップ付 3 心キャブタイヤケーブル 2.5 m

標準付属品

①トイシ｛レジノイドトイシ　外径 100 ㎜ × 厚さ 4 ㎜ × 穴径 15 ㎜｝…1 枚

②スパナ……………………………………………1 個

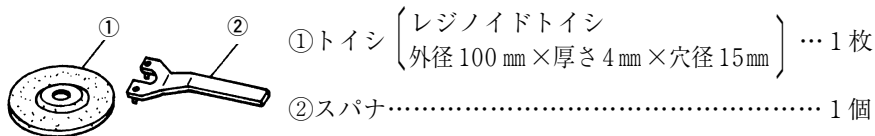



図　2

別売部品

…………（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

作業に適した別売部品をお選びください。（図中の６桁の数字はコードNo.を示します。）取付け方法は17～20ページをご参照ください。

1． 100㎜ディスクサンダ用部品

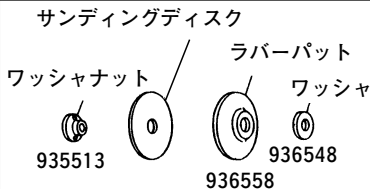



図３－A

○ 研削量が少なく仕上げ面をきれいにしたいとき，塗装面の下地みがき，さび落し，塗料落しなどに用います。

○ 粒度はP16，P20，P24，P30，P36，P40，P50，P60，P80，P100，P120の11種類がありますので，ご要求の際は適当な粒度をご指定ください。

2． 100㎜フレキシブルトイシ

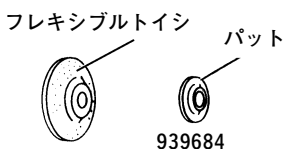



図３－B

○ 柔軟性をもったトイシで，作業中の衝撃が少なく，レジノイドトイシによる重研削と，サンディングディスクによる上仕上げの中間仕上げに適し，高能率を発揮します。

○ 粒度……♯36，♯46，♯60，♯80，♯100，♯120の６種類

3． 100㎜切断トイシ用部品

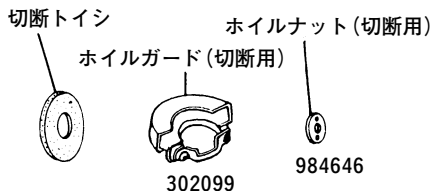



図３－C

○ 切断トイシは金属用と非金属用の２種類あります。

4．カップワイヤブラシ

図３－D

○ 鋳物，構造物，タンク，車体，鉄板，石材およびコンクリートなどの表面仕上げ，またはペンキをはがすのにサンディングディスクの代りに用いると有効です。とくに仕上げ面が平らな場合能率的です。

5．ベベルワイヤブラシ

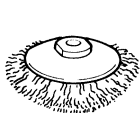



図３－E

○ カップワイヤブラシと同じ目的に使用されますが，特に凸凹が激しい面や，隅の部分または溝の底などを仕上げる場合に外周部を使用し，能率を上げることができます。

6．ダイヤモンドホイール用部品

○ カワラ，タイル，石材，コンクリートなどの溝入れに用います。

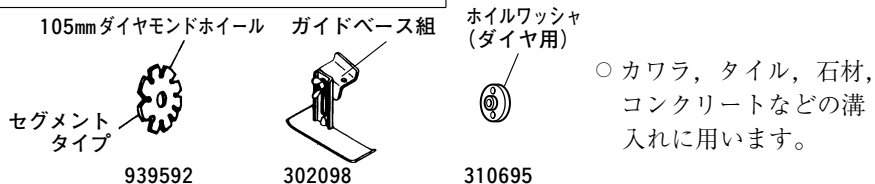



図３－Ｆ

7．電動工具用集じん機

⚠ 警　告

- **金属を研削および切断する場合は，集じん機は使用しないでください。研削および切断時の火花により，集じん機が焼損する原因になります。**

本製品は，電動工具用集じん機に接続して使用することができますので，お買い求めの販売店にご相談ください。

用　　途

用　　　途	使用する別売部品
鉄，青銅，アルミ鋳物などのバリ取りおよび仕上げ，溶接，溶断部の研削，さび落し	レジノイドトイシ フレキシブルトイシ
塗装面の下地みがき，さび落し，塗料落し	サンディングディスク カップワイヤブラシ ベベルワイヤブラシ
軟鋼材（薄物鉄板，小径丸棒など）の切断	切断トイシ（金属用）
カワラ，タイルなどの切断	切断トイシ（非金属用）
カワラ，タイル，石材，コンクリートなどの溝入れ	ダイヤモンドホイール（乾式用）

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．アース（接地），漏電しゃ断器の確認………

ご使用にさきだち，本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下，漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

また，本機は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流15 mA以下，動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも，より安全のためにアースされるようおすすめします。

○ アースクリップ付 2P さし込みプラグをご使用の場合

アースをするときは，図 ①のアースクリップをお使いになると便利です。

○ アースクリップ付 3P ポッキン（可倒式さし込み）プラグをご使用の場合

アースは，接地極のあるコンセントに３Ｐプラグ（接地極付プラグ）をさし込んで行ないます。接地極のないコンセントに接続するときは，図 ②のように接地極を折り曲げてコンセントにさし込み，アースクリップをお使いになると便利です。

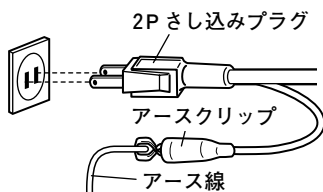
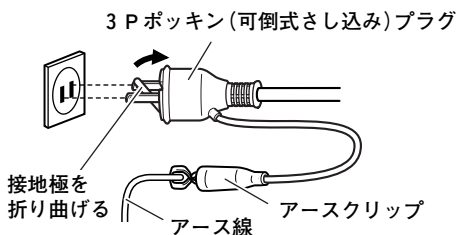



図 ①　　図 ②

プラグのアースクリップや接地極，アース線は，念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら，プラグの接地極またはアースクリップと本機金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板，アース棒）を埋め，アース線を接続するなどの接地工事は，電気工事士の資格が必要ですので，お近くの電気工事店にご相談ください。なお，アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがありますので，絶対にしないでください。漏電しゃ断器やアース（接地）については，次の法規がありますので，ご参照ください。

労働安全衛生規則（第333条，第334条）
電気設備の技術基準（第19条，第29条，第40条）

2．継ぎ（延長）コード………

⚠　警　告
• **継ぎ（延長）コードは，損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

次の表は，使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

導体公称断面積	最大長さ
1.25㎟	15 m
2　　㎟	25 m
3.5　㎟	45 m

必ずアース（接地）できる接地用の１心をもつ３心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3．作業環境の整備・確認………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

薄い鋼板を研削するような場合には，作業台の状態によっては研削音が鋼板に反響して大きな騒音がでる場合があります。このような場合には鋼板の下にゴムシートを敷くなどしてよけいな騒音を出さない配慮が必要です。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠　警　告
• **ご使用前に次のことを確認してください。１～５項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，トイシや機体が破壊する恐れがあります。また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故のもとになります。

スイッチはスイッチレバー(図1参照)をON(入)側に倒すと入り，OFF(切)側に倒すと切れます。

スイッチのレバーがOFF(切)になっていることを必ず確認してください。

3．ホイルガードの確認………

ホイルガードはトイシが破壊した場合の保護のためのものですから，必ず取付けてください。ホイルガードは，小ネジ(2本)(図1参照)を少しゆるめることにより任意の角度に動かすことができます。作業に適した角度にセットしてご使用ください。調整後は，小ネジ(2本)を確実に締付けてください。

4．ロックピンの確認………

ロックピン(図1参照)を押して，離したとき確実に戻ることを確認してください。

5．トイシの確認および取付け………

トイシは正規のものか，またヒビや割れがないか十分お調べください。トイシは正規の状態に取付けられ，十分締付けられているか点検してください。

トイシの取付けは16ページ「トイシの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

6．電源コンセントの点検………

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと，過熱して事故の原因になります。

7．試運転を行なう………

⚠ 注　意

- **本機のスイッチを入れるときは，本機の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。接触していることを知らずにスイッチを入れると，トイシが破壊することがあり，けがの原因になります。**
- **新しいトイシを取付け，はじめてスイッチを入れるときは，トイシの露出部から必ず一時身体を避けてください。**

トイシにヒビ・割れがあるのを気づかずに作業しますと非常に危険です。

作業前には人のいない方向にトイシを向け，必ず試運転を行なって異常がないことを確認してください。

試運転時間は

トイシ交換のとき ―――――――― 3分間以上
その日の作業始めのとき ――――― 1分間以上です。

削　り　方

⚠ 警　告

- **作業中は，必ず保護メガネを使用してください。**
- **機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり，割れたりする恐れがありますので，取扱いには十分注意してください。**
  万一機体を誤ってぶつけたり，落としたりしたときは，必ずトイシのヒビ割れや，機体に破損などがないことを十分確認してください。

注 • **回転中には，ロックピンを押さないでください。またロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。**

1．押し付け力………

トイシは被研削面に強く押し付けないでください。自重で研削できますから被研削面に軽くあてる程度に保持してください。

強く押し付けますと回転が落ちますから仕上面がきたなくなりますし，また過負荷になってモーターを焼損する原因となります。

2．押し付け角度………

トイシの全面を被研削面にあてないで，外周部分で研削するよう図４のように15°～30°傾けてご使用ください。

3．トイシの進め方………

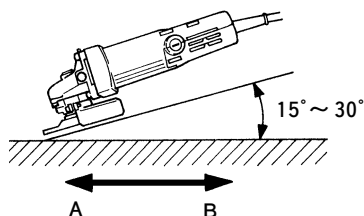



図　４

トイシが新しいときは，前（Ａの方向）へ押しますとトイシの角が食い込むことがありますから，後ろ（Ｂの方向）へ引いてご使用ください。

角が消耗しましたら，どちらへ進めても結構です。

○ 付属のトイシ（レジノイドトイシ）はト粒の種類Ａ，粒度＃36ですから一般鋼材の重研削用に最も適しておりますが，その他の各種の材料にも使用できる用途の広いものであります。なお粒度が粗い方ですから仕上げ面をきれいにするには，機体を軽く持ち上げ気味にしてゆっくりと一定速度で研削しますと，粒度の細かいものと同じように仕上げることができます。

4．スイッチの操作………

スイッチはスイッチレバー（図１参照）をON（入）側に倒すと入り，OFF（切）側に倒すと切れます。

5．使用直後の注意………

使用後はスイッチを切って，トイシの回転が止まってから本機を置いてください。回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと，切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。

トイシの取付け・取りはずし

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

⚠ 注　意

- **ホイルナットは，必ず付属のスパナを使って十分に締付けてください。**

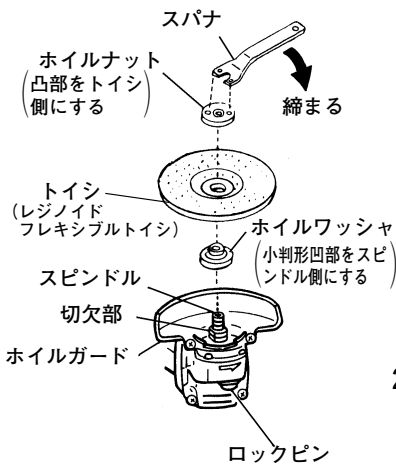
図　5

1．取付け方（図５）………

(1) スピンドルを上に向け，ホイルワッシャの裏側の小判形凹部をスピンドルの切欠部に合わせて取付けます。

(2) ホイルワッシャの上にトイシの突出部を当てます。

(3) トイシの上からホイルナットの凸部をトイシ側にして，スピンドルに取付けます。

(4) ロックピンを押してスピンドル軸を固定し，スパナでホイルナットを十分に締付けます。

2．取りはずし方………

○ トイシを取りはずす場合は，上記の取付けと逆手順に行なってください。

注 • **ロックピンを押して離したときに，確実に戻ることを確認してください。**

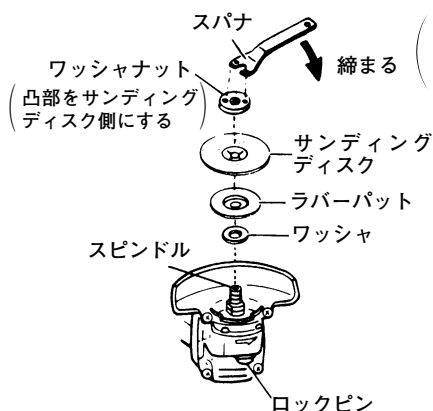
別売部品の取付け方

⚠ 警　告

- 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。
- 別売部品を使用の場合も必ずホイルガードを取付け，保護メガネを使用してください。
- 別売部品の項（10，11ページ）に記載された外径を超えるものは使用しないでください。

（付属のトイシの取付けと共通な部分は省略してあります。）

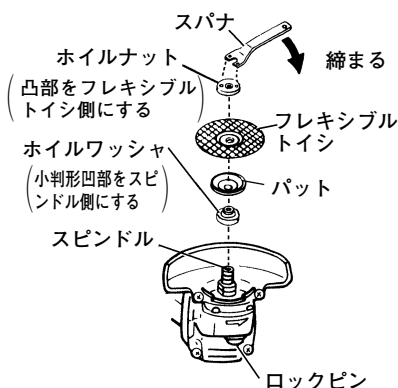
1．100㎜サンディングディスクの取付け………

図　6

（この場合，付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ，ホイルナットは使用しません。）

(1) スピンドルにワッシャ，ラバーパット，サンディングディスクの順に取付けます。
(2) サンディングディスクの上からワッシャナットの凸部をサンディングディスク側にして，スピンドルに取付けます。
(3) ロックピンを押してスピンドル軸を固定し，スパナでワッシャナットを十分に締付けます。

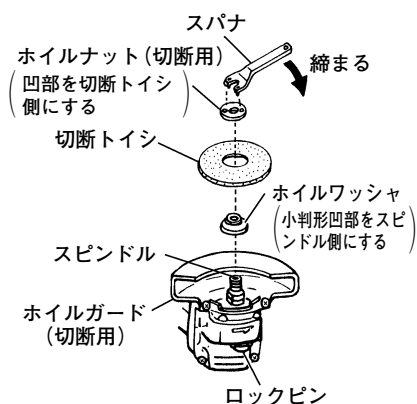
2．100㎜フレキシブルトイシの取付け………

スパナ
締まる
ホイルナット
（凸部をフレキシブルトイシ側にする）
フレキシブルトイシ
ホイルワッシャ
（小判形凹部をスピンドル側にする）
パット
スピンドル
ロックピン

図　7

（ホイルワッシャ，ホイルナットは付属のトイシ取付け用と同じ部品です。）

(1) スピンドルにホイルワッシャ，パット，フレキシブルトイシの順に取付けます。
(2) フレキシブルトイシの上からホイルナットの凸部をフレキシブルトイシ側にして，スピンドルに取付けます。
(3) ロックピンを押してスピンドル軸を固定し，スパナでホイルナットを十分に締付けます。

3．100㎜切断トイシの取付け………

図 8

(ホイルワッシャは付属のトイシ取付け用と同じ部品です。)

(1) トイシ(レジノイドトイシ)用のホイルガードをはずし，ホイルガード(切断用)を取付けます。
(2) スピンドルにホイルワッシャ，切断トイシの順に取付けます。
(3) 切断トイシの上からホイルナット(切断用)の凹部を切断トイシ側にして，スピンドルに取付けます。
(4) ロックピンを押してスピンドル軸を固定し，スパナでホイルナット(切断用)を十分に締付けます。

4．カップワイヤブラシの取付け
5．ベベルワイヤブラシの取付け

……(付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ，ホイルナットは使わず，直接スピンドルに取付けてください。)

6．ダイヤモンドホイールの取付けと切込み調整………

⚠ 警　告

- ダイヤモンドホイールは当社指定の別売部品（外径 105 ㎜，穴径 20 ㎜のもの）を使用してください。
- 使用前に，必ずダイヤモンドホイールにヒビ割れ，欠け，曲がりがないことを点検してください。
- 水や研削液などをかけて使用しないでください。
- 切削方向によっては反力があるので，本体を確実に保持してください。

⚠ 注　意

- トイシと同様に試運転を行なって，異常がないことを確認してください。（14 ページをご参照ください）

注 • モーター焼損の原因になるので，1回の切込み量は5㎜以下にしてください。また，送り速さを加減しながら無理な力をかけないようにして使用してください。

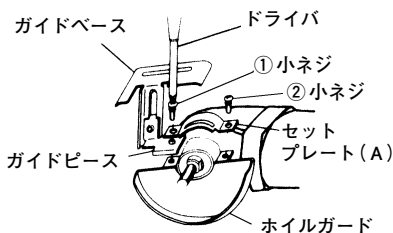



図　9

○ **ガイドベース組の取付け**（図９）

(1) ホイルガードの小ネジ（２本）をゆるめます。

(2) ガイドピースをホイルガードとセットプレート（A）の間にはさみ込み，①小ネジを十分締付け，動かないように固定します。

(3) ホイルガードの角度を作業に合った位置にセットし，②小ネジを十分に締付け，ホイルガードを固定します。

○ **ダイヤモンドホイールの取付け**（図 10）

（ホイルワッシャ，ホイルナットは付属のトイシ取付け用と同じ部品ですが，どちらも付属のトイシ取付け時と向きを逆にして使用します。）

(1) スピンドルに，ホイルワッシャ，ダイヤモンドホイールの順に取付けます。

(2) ダイヤモンドホイールの上から，ホイルナットの凹部をダイヤモンドホイール側にして，スピンドルに取付けます。

(3) ロックピンを押してスピンドル軸を固定し，スパナでホイルナットを十分に締付けます。

○ **ホイルワッシャ(ダイヤ用)の取付け**（図 10）

(1) ロックピンを押してスピンドル軸を固定し，ホイルワッシャ(ダイヤ用)の凸部をダイヤモンドホイール側にして，スピンドルにねじ込み，スパナで十分に締付け，取付けます。

(2) ダイヤモンドホイールは，" ○ダイヤモンドホイールの取付け " の要領で，ホイルワッシャの替りにホイルワッシャ(ダイヤ用)を用いて，取付けます。

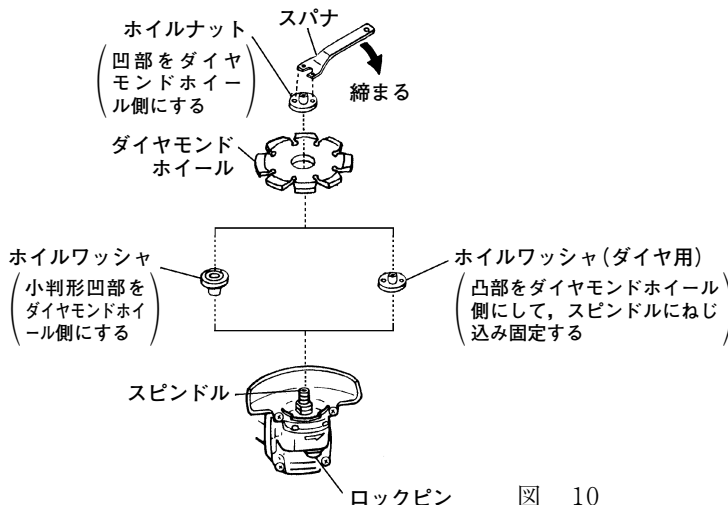



図　10

○ **切込み量の調整**（図 11）

切込み量の調整はちょうネジをゆるめて行ないます。

ちょうネジ

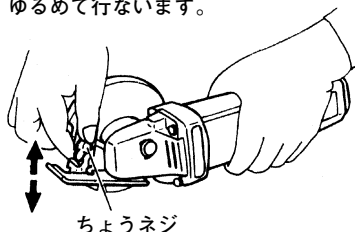



図　11

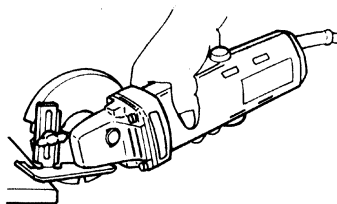



図　12（使用例）

保守・点検

⚠ 警　告

- **点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．トイシの取替え時期………

トイシの外径が60㎜ぐらいまでに摩耗しましたら，新品と交換してください。

2．各部取付けネジの点検………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら，締めなおしてください。

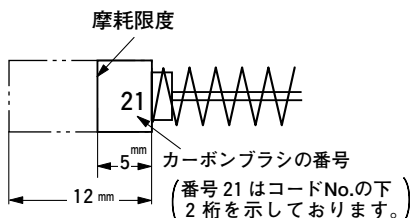
ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

3．カーボンブラシの点検………

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度（5㎜）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

図　13

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注
- **新品と交換の際は，必ず図示の番号（21）の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法　カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図1参照）をはずしますと取り出せます。

4．モーター部の取扱いについて………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注
- **モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。50時間ぐらい使用しましたら，モーターを無負荷運転させて，湿気のない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．製品や付属品の保管………

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

本機は，厳密な精度で製造されています。したがいまして，もし正常に作動しなくなったような場合には，決してご自分で修理をなさらないで下記のところにご用命ください。

最寄りの {日立電動工具販売店 / 日立工機電動工具センター}

ご不明のときは，裏表紙の日立工機サービス(株)サービス技術センター，または営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営 業 本 部　〒108-6020　東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）　☎(03) 5783-0626㈹

北海道支店　〒060-0003　札幌市中央区北三条西四丁目1番地1（日本生命札幌ビル）　☎(011) 271-4751㈹

東 北 支 店　〒984-0002　仙台市若林区卸町東三丁目3番36号　☎(022) 288-8676㈹

東 京 支 店　〒110-0016　東京都台東区台東四丁目11番4号（三井住友銀行御徒町ビル）　☎(03) 5812-6331㈹

中 部 支 店　〒460-0008　名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）　☎(052) 262-3811㈹

北 陸 支 店　〒920-0058　金沢市示野中町一丁目163番　☎(076) 263-4311㈹

関 西 支 店　〒530-0001　大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル）　☎(06) 4796-8451㈹

中 国 支 店　〒730-0011　広島市中区基町11番13号（第一生命ビル）　☎(082) 228-0537㈹

四 国 支 店　〒760-0078　高松市今里町一丁目28番14号　☎(087) 863-6761㈹

九 州 支 店　〒813-0062　福岡市東区松島四丁目8番5号　☎(092) 621-5772㈹

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

711

部品コード　C99036208　N